

東京都市大学

ISO学生委員会(イソ)

学内外の環境に対する意識の向上を目的に活動。主にエコライフフェアやエコプロなどの外部企画への参加。また、毎年10月に環境ISOフォーラムを行い、内外に活動報告や環境面で活躍している方の講演などを主催している。各部会では、学内でのごみの混在率測定、電力測定などによる学生への啓発や中学校での環境講座の開催など幅広く行っている。



三重大学

環境ISO学生委員会

●3R活動として古本回収、再生可能容器「リ・リバック」の回収、●ゴミ分別の推進、学内の放置自転車対策、●緑化活動として屋上緑化、緑のカーテン、落ち葉を利用した堆肥づくり、●地域の方々と協力する海岸清掃、地域の小学生への環境授業の実施、地域の環境イベントへのブース出展、などを通して、学生の環境意識の向上を目指している。



滋賀県立大学

環境団体ECOST

一人でも多くの人の環境意識を上げることをモットーに、外来種駆除や地産地消、フェアトレード、外国人環境交流、環境学習、農業など多角的に大学生らしい活動を行っている。ECOSTではメンバーの自主性を尊重し、一人の意見にみんなが耳を傾けて活動を進めている。活動を行うことで、団体内外への環境意識の向上を目指し日々努力している。



京都大学

エコ～るど京大

全員参加型で環境負荷を低減し、この後も持続できる「持続可能な大学」の実現を目指している。多様な視点から環境問題を考え、地域も巻き込んだ活動を行っている。具体的には、学内外に向けたフリーマーケット、普段の食などと持続可能性を繋げるイベント、たんすに眠っている着物を寄贈してもらい次世代につなぐ企画などを行っている。



京都経済短期大学①

経短ごみゼロプロジェクト

地元の夏祭りや学園祭での屋台から出るごみを減らすために、リユース食器の導入をすすめ、かつ実践する活動をしている。住民の方へのプレゼントや段取りなど、学生自身が企画。実際のお祭りの場においても、エコステーションで分別や食器回収などを実践。今後も地域が持続的にごみを減らしていくことができる仕組みについても考えていく。



京都経済短期大学②

けいたんエコクラブ

「ごみを減らすのではなく、生み出さない」が目標。地域の夏祭りでは、リユース食器の導入を地元の方に働き掛け、リユース食器の手配や当日の分別等の運営、返却等すべての作業に携わった。来年度には、大学の学園祭でもリユース食器が導入できるよう準備をすすめている。また、食品ロスを削減する「使い切りクッキング」にも取り組む。



同志社大学 & 同志社女子大学

えこまな@京田辺

京田辺市や地域の方々と連携し環境活動に取り組んでいる。地元小学校で環境教育授業を実施。毎年より良い環境教育プログラムとなるようプラスキュアップを続け、昨年度からは野外での自然体験イベントの開催も行い、その成果は環境教育授業のプログラムに反映されている。地域の環境イベント、学園祭で環境問題に関する展示も行っている。



摂南大学

エコシビル部

近畿の河川で、清掃活動、外来種駆除活動、Eボートを用いた親水活動などの活動をしている。玉置である手漕ぎの10人乗りEボートを用いた活動では、毎回多くのお客様が河川と親しめる貴重な体験ということで大人気。その他、天若アートプロジェクトや新天地 in NEYAGAWAといった祭事の企画運営に携わり、全国各地で多岐に渡る活動を行っている。



大阪大学

環境サークル GECS

「環境問題に関心の薄い人に環境活動に対して興味を持ってもらうためのきっかけ作り」を活動的目的に掲げている。箕面川の清掃、一国の主ゲーム、フリーマーケット、吹田市と協力した環境啓発活動、リサイクル活動、環境教育、壁面緑化、ユニークなゴミ拾いイベント、キャンパスに花を植える景観改善などを実施。将来持続可能な社会を整えていく。



大阪府立大学

環境部エコロ助

学園祭でゴミの分別や管理、模擬店でゴミを減らすリユースやワークショップ、大学敷地内で野菜を栽培、大阪府と連携し農空間保全イベントを開催、壁面緑化、自転車リユース、弁当容器やミスマッチプリントなど資源の回収とリサイクル、ゴミ拾い活動などに取り組む。環境教育班は、エコレンジャーショーなどを通じた環境教育活動に取り組んでいる。



奈良女子大学

環境サークル eco-SA

「環境問題を身近だ!と思ってもらえるように、study & act!」をテーマに環境問題に関する情報共有を行ったり様々な環境イベントに参加し、学びと行動とどちらとも大切にしている。結成してからまだ4年目で、主体活動は少ないですが、環境問題について詳しくない人や興味のない人でも、環境問題に関わっていこう!と思えるような活動を進めている。



近畿大学農学部

学生団体FeeLink

「次世代環境を切り開く人材を育成する」ことを目的として活動している。私たちの学び(Fee)を社会につなげる(Link)ことで社会を変えていく。農学部での学びを活かした活動では、無農薬での作物栽培の実践、都市部における屋上緑化、ビオトープの施工、希少種の保全、また連携先の小学校では全学年を対象に環境教育を行っている。

